

血尿くびくりにしても、慌てないで

3月に芸能人好感度No.1の芸人さんが膀胱がんの手術を受けたと公表されました。症状としては血尿だけで、痛みやそのほかの症状は何もなかったとのこと。早期発見が幸いして、内視鏡手術ですべて切除できたようです。

このように、血尿は腎臓や尿路の病気のサインです。尿検査で見つかる尿潜血や顕微鏡的血尿もありますが、尿に血が混じることを目で見て判断できる肉眼的血尿はさらに重要な病気のサインとなります。

血尿は、膀胱炎や前立腺炎などの炎症で粘膜がただれることよって起こるもの、腎臓結石や尿管結石などが粘膜を傷つけることよって起こるものが大半です。

これらは通常、頻尿や排尿時痛、背部痛や下腹部痛などの症状を伴うことが多いです。しかし、症状もなく血尿が出たとき

は要注意です。早期の尿路腫瘍は自覚症状がなく、潜血や血尿だけが出てくるのが最初のサインとなります。

ただし、血尿が出ても慌てる必要はありません。血尿は見かけたときはびくりますが、実はその中に含まれる出血量はわずかです。1リットルの尿に1ミリリットルの血液が混入するだけでうっすらと赤くなります。1日中ロゼワインのような色の尿が出続けても、出血量で見ると血液検査1回分にも満たないでしょう。血尿が続いてもよほどのことがないかぎり貧血になることはありません。

血尿はあくまでも病気があることを示す赤信号です。慌てずに止まって、水分をしっかりとり、落ち着いて泌尿器科を受診してください。